

平成23年度関東高等学校男子バスケットボール大会 第65回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成23年6月5日(日)

【男子】 準決勝 富士北麓公園体育館 Bコート 第2試合

県立宇都宮工業 (栃木)	92	$\left\{ \begin{array}{l} 27 - 21 \\ 22 - 25 \\ 23 - 16 \\ 20 - 16 \\ - \end{array} \right\}$	78	船橋市立船橋 (千葉)
-----------------	----	---	----	----------------

県立宇都宮工業

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計	パス			
4 *	稲葉 泰嗣	12	0	2	6	12	0	1	4	9	2	11	2	1	0	3
5 *	安藤 貴史	11	1	12	4	7	0	0	2	2	4	6	2	0	0	0
6 *	内藤 聡	25	1	3	9	12	4	5	5	2	4	6	5	3	0	1
7 *	橋本 晃佑	28	0	2	12	25	4	7	0	5	9	14	2	0	6	3
8	諏訪 伸弥															
9	杉山 智	7	0	0	2	3	3	4	3	0	0	0	1	2	0	1
10	中田 佳秀															
11	穂積 司															
12	高橋 圭悟															
13	大塚 隆史															
14 *	佐藤 翔耶	9	0	3	4	9	1	2	3	0	8	8	4	2	0	4
15	萩原 陵太															
16	中居 康平															
17	塩野 修平															
18	國分 優太															
HC	千村 隆/TEAM									0	5	5				0
		92	2	22	37	68	12	19	17	18	32	50	16	8	6	12

*スターティングメンバー

確率

9.1% 54.4% 63.2%

船橋市立船橋

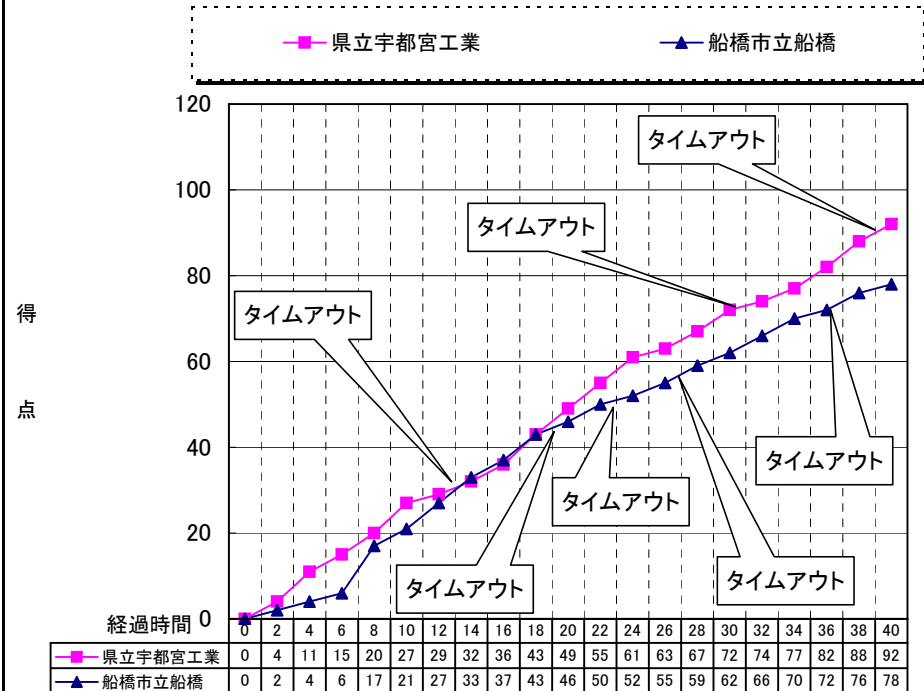
番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計	パス			
4 *	西鶴 大輔	8	0	2	4	7	0	0	0	0	5	5	7	0	0	5
5 *	石井 竜也	8	0	3	3	4	2	2	5	3	7	10	3	1	1	2
6	貝塚 祥平	3	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
7 *	古牧 昌也	25	3	9	4	13	8	8	3	3	4	7	6	0	1	4
8	西村 章吾															
9	松村 海翔															
10	釜石 将紀															
11	中谷 健															
12	田代 将也	19	3	4	5	10	0	0	1	2	2	4	2	1	1	1
13	内山 泰杜															
14 *	山本 大貴	4	0	1	2	8	0	0	3	0	7	7	6	1	1	0
15	脇黒丸一輝															
16	山崎 豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 *	山本 健太	11	0	0	5	11	1	2	2	2	5	7	2	1	0	2
18	川口 大地															
チーム	近藤 義行/TEAM									0	0	0				0
		78	7	20	23	53	11	12	15	10	31	41	26	4	4	14

*スターティングメンバー

確率

35.0% 43.4% 91.7%

2分毎による得点の推移



戦評

1Q、宇工は⑥⑦を中心としたマッチアップ的なゾーン、市船はハーフコートマンツーマンからのスタート。市船はスタートメンバーを宇工の高さに対してサイズアップさせてきた。ゲーム展開は、宇工の⑥がスティールや3P、ドライブインなどで大活躍する。一方、市船も⑦のアシストから⑫が良く合わせ、連続で得点を重ねる。27-21で終了。2Q、最初に動いたのは市船。⑤⑪④の走力を活かしたオフェンスで一気に2点差まで詰め寄る。宇工たまらず7:00にタイムアウト。ここから両チームアップテンポなプレイが続き、49-46で宇工3点リードで終了。

3Q、序盤から宇工が⑥⑦を中心に加点する。対する市船は宇工のディフェンスの裏を突くも、ターンオーバーが多い。6:15には宇工のフォーメーションから⑥のアリウープシュートが決まり、61-52。しかし、宇工⑥が5つ目のファウルを冒し、痛くも退場。交代で出場した⑨が良くつなぎ、72-62で終了。4Q、宇工がプレス気味であたるも、市船⑦⑤が落ち着いて攻めきる。宇工も⑤の跳躍を活かしたプレーや⑨のランニングプレーなどでリードする。両チーム一進一退の状態が続くも、宇工の⑦の高さを活かしたゴール下で加点。最後まで市船も諦めることなくディフェンスするが、92-78でゲームセット。

全国トップレベルの好ゲームであった。

主 審 小 澤 勤

副 審 二 宮 隆 二

記入者 西 原 哲 大